

# 40年間の感謝を込めて、記念イベントが満開です!

皆様のご愛顧があったからこそ迎えられた40周年。  
記念すべきメモリアルイヤーをぜひ一緒に祝っていただきたくて、記念イベントを続々開催予定です。  
ご家族やご友人をお誘いの上でご来場いただき、お花に負けない素敵な笑顔を咲かせてください!

## 長居植物園 ナイトガーデン



クラシックなどのコンサートも毎日開催。ビールを片手に夜の植物園で夕涼み  
日 時：平成26年8月1日(金)～8月17日(日)  
18:00～21:00(最終入園20:30まで)  
※8月4日・11日(月)は臨時開園します。  
場 所：長居植物園  
入園料：小学生以上300円  
(障がい者の方は無料※要証明書提示)  
問い合わせ：長居パークセンター  
TEL 06-6694-9007

## 長居植物園「万葉のみち」オープニング式典

日 時：平成26年9月21日(日) 13:30～  
「長居植物園 万葉のみち オープニング式典」  
(長居植物園内北東部「万葉のみち」前)  
参加料：無料(別途、植物園の入園料が必要)  
申 込：当日 直接お越しください。

## 長居植物園ご利用案内

- 開館時間  
3月～10月 9:30～17:00(最終入園16:30)  
11月～2月 9:30～16:30(最終入園16:00)
- 入園料  
200円(中学生以下、大阪市内在住の65歳以上、障がい者の方は無料(要証明書提示))
- 休館日  
月曜日(休日の場合は翌日)、  
年末年始(12月28日～1月4日)  
※8月4日(月)・11日(月)は臨時開園します。
- アクセス  
○ 地下鉄御堂筋線「長居」下車。  
3号出口より東へ約800m  
○ JR阪和線「長居」下車。東へ約1,000m



## 長居植物園 イメージキャラクター「しょくぼん」誕生!



長居植物園にとっても可愛いキャラクターが誕生!  
公募で決まった愛称は「しょくぼん」です。土の中で眠っていましたが、みんなを楽しませるために「ボンッ」と生まれました。きれいな花が咲き、緑が豊かなのも「しょくぼん」のおかげ。植物園のイベントにどんどん出演するので、ぜひ会いに来てくださいね!

## 長居植物園「万葉のみち」オープニング記念講演会

日 時：平成26年9月21日(日) 14:30～  
会 場：大阪市立自然史博物館 講堂  
講 師：大阪市立大学大学院 文学研究科 博士(文学) 村田 正博教授  
講 演：「万葉集散策―深き思いを草木に寄せて―」  
受講料：無料(別途、植物園の入園料が必要)  
定 員：200名  
申 込：当日 直接お越しください。

特集 40周年を  
迎えた長居植物園の  
古くて新しい魅力!

# 千数百年の時を超えて、 万葉歌人と心をひとつに。

距離も時間も超える  
植物園マジック

万葉の歌を愉しむ  
コツは?!



大阪市立大学大学院教授 文学研究科 博士(文学)  
村田 正博 教授

「なんと!寒さの厳しい北国には、こんな花が咲くのか。反対方向にある暖かい地方ではこんな草木が茂るんだなあ」。私は学生時代から、時間を見つけては植物園に足を運んでいました。育つ環境が違えば姿もかたちもこんなに変わるのかと感心し、世界各地の山岳や野原へと想像の翼を羽ばたかせていたのです。

万葉集は、およそ七世紀から八世紀半ばまでの約百三十年にわたる、天皇から庶民に至るまで様々な階層の人々の歌四千五百首余りを集めた日本最古の歌集。後世の歌集にくらべて、植物や動物、とくにその生態についての深い観察をふまえた歌が多く詠まれています。

かべてください。春でも秋でも冬でもない、草木がびっしりと生えた夏の野原です。こうした中で姫ゆりは、まわりの草木を意に介さずすつくと伸び上がり、その先端にあでやかな花を咲かせています。

自然と人間が共生できる世の中に「素敵な歌だなあ」と思ったアナタ。この瞬間、アナタは千年以上の時を超えて、万葉の歌人と思いを共有したのです。私たちが姫ゆりに注ぐ視線の向こう側に、万葉歌人の姿が浮かぶ、そんな気さえしてきませんか。

植物園では、距離だけでなく、時間さえ超えられると私は考えています。物言わぬがゆえに雄弁な植物を目にした時に湧き起こる感情は、どんなものであつたか、きつとそれは私どもよりもっと豊かで深いものがあつたのではないかと、そんなことをうかがわせてくれるのが先人たちのこのころの遺産。古典文学。私

万葉の歌を愉しむコツは、まずは心を落ち着かせ、情景をイメージしながらゆっくりと読むこと。ここでは夏の野を思い浮かべ、

この私の、あなたに寄せる思いを草むらにまぎれさせて気づいてくれないなんて、苦しいわ...、そう歌っているのです。いかがですか? 姫ゆりの生態に寄せて、切ない心中を巧みに綴る恋歌ですね。当時の慣習として作者はこの歌を意中の相手に贈ったはず。これほどのラブレターをもらった相手は...、そんな物語を想像するのも楽しみです。

今年で40周年を迎えた長居植物園は、これまで以上に万葉の世界を堪能できる環境が整っています。歳月を超えて万葉の歌人と心をひとつにする、ここでしかできない素晴らしい体験が、自然と人間が本当の意味で共生できる世の中を考えるきっかけになればそう願っています。

## Special Interview スペシャルインタビュー